

# ハイレックス（反射板付タイプ）

## 取扱説明書

お買いあげいただき、ありがとうございます  
この「取扱説明書」には、本製品を安全にご使用いただくための、必要事項が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。また、この「取扱説明書」を、必ずお手元に保管し、ご活用ください。



## 本製品を安全にご使用いただくために

本製品には、安全に使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。



**警告**

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または負傷する危険の状態が生じることが想定される場合。



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。



**警告**

### ●電源ケーブルは圧着端子を使用して確実に締め付ける

圧着端子を使用しないと、漏電、感電の原因になります。



### ●爆発性ガス、可燃性ガス雰囲気中では絶対に使用しない

火災、爆発事故の原因になります。絶対に使用しないでください。



### ●絶対に分解・改造をしない

絶対に、分解、改造をしないでください。火災、感電、故障の原因になります。



### ●スプレー缶などを本体の近くに置かない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発、火災の原因になります。



### ●水がかかる場所で使用しない

ヒーターに水がかかる場所では使用しない。火災、感電の原因になります。



### ●本体の穴、すき間に、針金などの金属や異物を入れない

感電、故障、火傷の原因になります。



## 警告

### ● ヒーターは水平方向に設置する

縦方向や傾斜に設置すると上部ターミナル部が異常に高温になり、故障、火災の原因になります。



### ● ヒーター端子部には触れない

運転中、ヒーター端子部および電源部分には触れないでください。感電、火傷の原因になります。



### ● 端子部カバーの周囲が高温になる場所で使用しない

ターミナル部が高温になり、故障、火災の原因になります。



### ● 次のような場所では使用しない

火災、故障の原因になります。

- ・ 腐食性ガス雰囲気中
- ・ 屋外または風雨のかかる場所
- ・ だれもない場所



### ● ヒーター全体を囲わない

ターミナル部が異常に高温になり、故障、火災の原因になります。  
また、ヒーター押さえ金具の亜鉛メッキは250℃を超えると剥離の恐れがあります。



### ● 使用中および使用直後に本体に素手で触れない

赤熱していなくても、通電中は大変熱くなっています。体や衣服に触れないようにしてください。火傷の原因になります。



### ● 次のような時は使用しない

火災の原因になります。

- ・ ヒーターに可燃物が触れる恐れのある場合
- ・ ヒーター表面に異物が付着している場合
- ・ 風呂等の高湿度雰囲気中使用する場合



## 注意

### ● 点検は電源を切ってから行う

移動、点検および清掃を行う場合は、必ず電源を遮断し、電源線ははずして機器が冷えてから行ってください。守らないと、感電、火災の原因になります。



### ● 定期的に点検を行う

定期的に点検を行い、反射板を取付けているネジにゆるみ、腐食、ターミナルの給電部のネジのゆるみがないか確認してください。



ヒーターが落下すると、火災・感電・火傷・故障の原因になります。また、コーティング部分が傷つくと遠赤外線を放射する塗料がはがれて遠赤外線効果が失われます。

ヒーターの端子部の温度上昇で白い異物が出る場合がありますが、それはシリコンで、有害物質を含んでいません。発生時には取り除いてください。

### ● 正しい電源電圧で使用する

表示電源電圧以外での使用はできません。火災、感電の原因になります。



### ● 使用中は可燃物を2m以内に置かない

プラスチックなどの樹脂製品は遠赤外線吸収率が高いので、高温になり破損する恐れがあります。



### ● 暖房に使用しない

本製品は、電気用品安全法に定める採暖器ではありません。

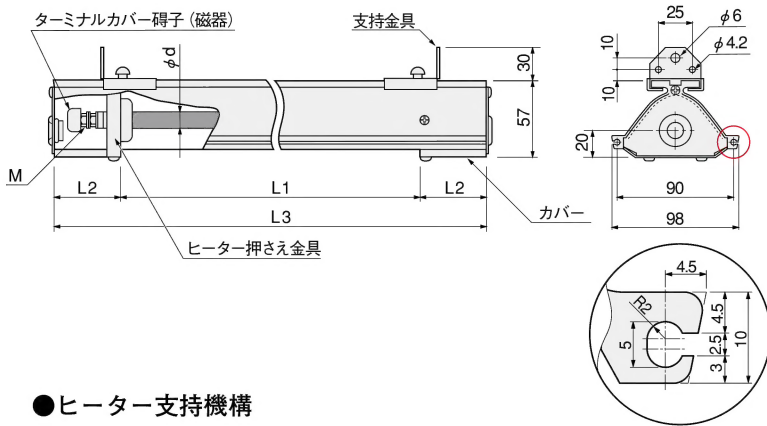


### ● 振動、衝撃を与えない

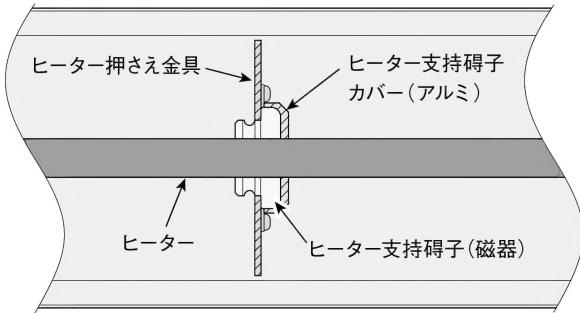
各種碍子が壊れ、感電の原因になります。



## 1. 各部の名称・寸法・仕様



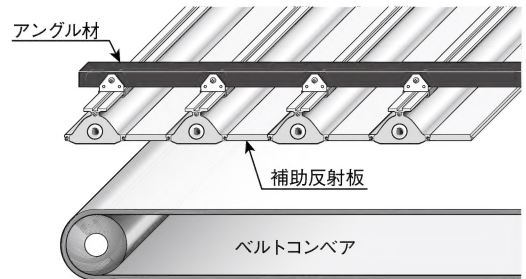
## ●ヒーター支持機構



反射板	：アルミ
支持金具	：SPCC(亜鉛メッキ・三価クロメート)※
カバー	：SPCC(亜鉛メッキ・三価クロメート)※
ヒーター押さえ金具	：SPCC(亜鉛メッキ・三価クロメート)※
発熱部表面容量密度	：4 W/cm <sup>2</sup>

※：食品加工用途に使用される場合、特注品にてステンレス鋼（SUS304）仕様に対応できます。

反射板付きタイプは、複数横につなげることで、面状、筒状など、各種の使い方ができます。



型 番	商品コード	電 圧	容 量	寸 法 (mm)					質 量 (kg)	
				φ d	L1	L2	L3	M		
HHS1321	07602010	100V	300 W	8	330	55	440	M3	1.2	
HHS1322	07602020		500 W		530	60	650		1.6	
HHS1323	07602030		750 W		780		900		2.1	
HHS1331	07602040		300 W	10	280	55	390	M4	1.1	
HHS1332	07602050				500 W		440		550	1.5
HHS1333	07602060				750 W	60	760		2.0	
HHS1334	07602070				1 kW		840		960	2.4
HHS1335	07602080				1.25 kW		1040		1160	2.8
HHS1103	07601010		300 W	12	245	55	355	M5	1.1	
HHS1105	07601020		500 W		375		485		1.4	
HHS1175	07601030		750 W		60	555	675		1.9	
HHS1110	07601040		1 kW			705	825		2.2	
HHS1112	07601050		1.25 kW			875	995		2.6	
HHS1422	07602110		500 W			8	530		60	650
HHS1424	07602120		750 W	780	900		2.1			
HHS1425	07602130	1 kW	1030	1150	2.6					
HHS1426	07602140	1.25 kW	1220	1340	3.0					
HHS1433	07602150	500 W	10	440	55	550	M4	1.5		
HHS1434	07602160	750 W		640	60	760		2.0		
HHS1435	07602170	1 kW		840		960		2.4		
HHS1436	07602180	1.25 kW		1040		1160		2.8		
HHS1437	07602190	1.5 kW		1160		1280		3.1		
HHS1205	07601120	単相 200V	500 W	12	375	55	485	M5	1.4	
HHS1275	07601210		750 W		555	60	675		1.9	
HHS1210	07601140		1 kW		705		825		2.2	
HHS1212	07601150		1.25 kW		875		995		2.6	
HHS1215	07601160		1.5 kW		1045		1165		3.0	
HHS1220	07601170		2 kW		1375	70	1515		3.9	
HHS1230	07601180		3 kW		2025	75	2175		5.5	

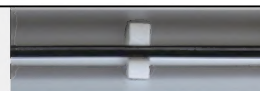


## 2. 使用方法

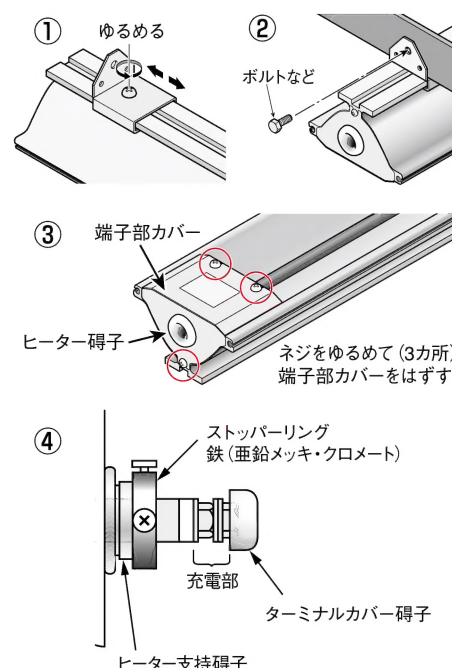


**注意**

ヒーターと反射板の隙間に緩衝材がある場合は、必ずとりはずしてください。



- ① 支持金具のネジをゆるめ、反射板を取付ける場所に合わせて支持金具の位置を調節します。
- ② 支持金具の穴 (φ6、φ4.2 mm) を利用して、ボルトなどで反射板をしっかりと固定します。
- ③ 反射板両端に付いている端子部のカバーをネジをゆるめて取りはずします。
- ④ ストッパーリングのネジを、ゆるみがないように締め付け、右図のように固定してください。電源電線を充電部に圧着端子を使用して確実に締め付け、反射板カバーのヒーター碍子の穴に電源電線を通して配線します。配線後、端子部のカバーをはめ、ネジを締めてカバーがしっかりとハマっていることを確認してください。



**注意**

- ・ターミナル部には、ターミナルカバー碍子を必ず取付けてください。
- ・ストッパーリングが充電部に触れないように取付けてください。
- ・電源電線は耐熱電線 (ガラス繊維被覆、シリコンゴム絶縁電線など) をご利用ください。

- ⑤ ブレーカーの電源を ON にし、ヒーターの運転を開始します。
- ⑥ 運転終了時は必ずブレーカーなどの電源を OFF にしてください。



本製品に温度調節機能は付いていませんので、「ボルサーモコンローラー」と併せて使用することをお勧めします。ご使用になるヒーターの電圧、容量に合わせて選定してください。

## アフターサービス

### ●ご不明の点がございましたら

ご使用にあたってご不明な点や、使用中にお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店またはお近くの (株) 八光電機 支店・営業所・販売会社までご連絡ください。

#### ○株式会社 八光電機 営業本部

本部・東京支店	〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-7-9	TEL (03) 3464-8500	FAX (03) 3464-8539
仙台支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-5-17 伊藤ビル1階	TEL (022) 257-8501	FAX (022) 257-8503
宇都宮支店	〒320-0065 宇都宮市駒生町1359-42	TEL (028) 652-8500	FAX (028) 652-5155
大宮支店	〒331-0804 さいたま市北区土呂町 2-10-15 深澤ビル1階	TEL (048) 667-8500	FAX (048) 667-0008
大阪支店	〒553-0003 大阪市福島区福島 8-16-20 MSビル	TEL (06) 6453-9101	FAX (06) 6453-5650
福岡支店	〒812-0014 福岡市博多区比恵町 2-24 ロックシャローズ博多	TEL (092) 411-4045	FAX (092) 411-4046
札幌営業所	〒060-0004 札幌市中央区北四条西15-1-35 山京ガーデンハイツ西15 1階	TEL (011) 611-8580	FAX (011) 611-8541
京都営業所	〒601-8328 京都市南区吉祥院九条町39-6 創栄 吉祥院ビル1階	TEL (075) 682-8501	FAX (075) 682-8504

#### ○岡山八光商事株式会社

本 社	〒700-0926 岡山市北区西古松西町5-6 岡山新都市ビル404	TEL (086) 243-3985	FAX (086) 243-8514
松山営業所	〒790-0003 松山市三番町7-13-13 ミツネビル	TEL (089) 935-8517	FAX (089) 935-8507

#### ○長野八光商事株式会社

本 社	〒389-0804 長野県千曲市大字戸倉 1693	TEL (026) 276-3083	FAX (026) 276-5163
金沢営業所	〒920-0842 金沢市元町 1-16-19 ルミエール第二ビル	TEL (076) 253-8500	FAX (076) 253-8685

#### ○名古屋八光商事株式会社

本 社	〒462-0847 名古屋市北区金城 3-4-2	TEL (052) 914-8500	FAX (052) 914-8570
静岡営業所	〒422-8064 静岡市駿河区新川 2-1-40	TEL (054) 282-4185	FAX (054) 282-1500

#### ○八光電熱器件 (上海) 有限公司

上海市松江区俞塘路512号 TEL (86) 21-5774-3121 FAX (86) 21-5774-1700

#### ○HAKKO (THAILAND) CO.,LTD

9/41 Moo 5, Paholyotin Road, Klong 1, Klong Luang, Patumthani, 12120, Thailand TEL (66) 2-902-2512 FAX (66) 2-516-2155

#### ○株式会社 八光電機 生産本部

本 社 工 場 〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1486  
ヤシロ工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1221-1

ホームページアドレス [www.hakko.co.jp](http://www.hakko.co.jp)